

2017年度 公益財団法人京都YMCA事業計画

2017年度も人材育成をその基本活動として、京都YMCAの使命実現に向けて、「ボランティア社会の構築」、「青少年の育成」、「福祉社会の構築」「多文化共生社会の成熟」「生涯学習の推進」の5つを柱に基づき進められてきた資源を基に130周年に向けて運動・事業を展開する。

- 1、5つの分野の事業・活動について府民との協働を重視しその推進を図る。
特にユースの育成をはじめとした「人」の育成に重点を置く。
- 2、三条本館での新たな社会の課題への取り組みとして、2018年度開始を目標に子育て支援事業の準備をすすめる。
- 3、運動および事業推進基盤の整備を進め、公益事業を担う会員やボランティアを育成し、地域社会に貢献する。
- 4、施設の老朽化に伴い三条本館の耐震補強工事を行う。

I. ウェルネスの考え方の下に子どもから大人までの健全な心身の発達を促進するための自然・社会体験活動及びセミナー等開催事業

京都YMCAの自然体験や、スポーツ活動、文化活動を通して、プログラムに参加する一人ひとりの全人格的な成長を促し、健やかな心と体を育みながらたくましく成長をはかる活動を展開する。

プログラムを通していのちを守ることの大切さを学ぶとともに、生涯にわたって生き生きとした人生を歩み、社会の一員として貢献できるように指導する。

2017年度事業計画

- ① 希望する方すべてが、子育て等をしながら安心して働くことができる社会の実現に向け、アフタースクール等の強化をはかる。
- ② 水上安全キャンペーンを昨年に続き実施しYMCAウォーターセーフティハンドブックを近隣の小学校に配布する
- ③ 病児及び発達障がい児の支援プログラムを充実させる
- ④ 少子化の進展に対応した取り組みを行う
- ⑤ 超高齢化社会に対応した活動を推進する
- ⑥ 地域社会が必要とする活動の研究を行い新しい活動の開発と展開を図る

主な事業の参加目標人数

野外自然体験活動事業

日常プログラム

| | | |
|---------------|------------|------------|
| 日常野外活動 | 前期登録者 230名 | 後期登録者 220人 |
| 発達障がい児支援プログラム | 年間登録者 | 40人 |
| リトリートセンター利用者 | 年間利用延人数 | 3000人 |

特別プログラム

| | | |
|------------|--------|------|
| 夏期キャンプ | 参加者延人数 | 480人 |
| スキープログラム | 参加者延人数 | 640人 |
| 冬期・春季プログラム | 参加者延人数 | 150人 |

| | | |
|--------------------|-----------|--------|
| 成人ウエルネス事業 | 年間登録者 | 485 人 |
| フリー（スイミング、マシン） | 年間登録者 | 280 人 |
| クラス（健康教室、ヨガ他） | 年間登録者 | 70 人 |
| 高齢者筋トレ教室 | 年間登録者 | 135 人 |
| ユーススポーツ事業 | 年間登録者 | 1130 人 |
| 集中プログラム | | |
| キッズダンス | 年間登録者 | 10人 |
| 鉄棒・跳び箱が好きになる教室 | 夏期・冬期・春期計 | 230人 |
| 集中水泳 | 参加者延人数 | 690人 |
| 子育て支援 アフタースクール | 年間登録者 | 25人 |
| ユースボランティアの育成 | | |
| 年間活動ユースボランティアリーダー数 | 年間登録者 | 80 人 |

II. 子どもから大人までの幅広い世代のボランティアによる地域社会及び国際社会への貢献事業、並びにボランティアの育成事業

こどもから大人まで全ての人々がボランティアを通して地域社会ならびに国際社会に貢献することができるように、ボランティアを育成し、ボランティアの手による地域社会および国際社会への貢献事業を進める。

2017 年度事業計画

- ①ボランティアセミナーや啓発プログラムを通じてボランティアの拡大を行う。
- ②チャリティーイベントへの府民参加の拡大を図り公益活動の理解を広める。
- ③グローバルな視野を持ちリーダーシップを発揮できる人材を育成する。
- ④公益活動のための助成金の導入と寄附金拡大を図る。

各計画の目標

- 1、ボランティアセミナーを年間3回以上開催する
 - YMCA社会セミナーを実施 (年間1回開催参加者 40名)
 - YMCA・YWCA合同企画プログラム (11月開催参加者 60名)
 - 国際理解セミナー (年間4回参加者 150名)
 - 国際協力街頭募金を実施 (10月開催参加者 200名)
- 2、身心に障がいのある子供たちのための「インターナショナルチャリティーラン」を実施 (5月実施 ボランティア及び参加者を含めた来場者 1300名)
- 第5回 The Y cup 京都ミニバスケットボール大会を実施 (3月実施 参加男女16チーム来場者 500人)
- ネパールチャリティーバザーを実施 (3月開催 来場者 500人)
- 3、地球市民養成セミナーにユースを派遣 (2名)
- グローバルコミュニティースタディプログラムに青年を派遣 (4名)
- ピースセミナーに青年を派遣 (2名)
- 研修を通じて国際ボランティアの養成を図る (年間3回 30名)
- 4、地域奉仕活動のための寄付金 (目標 3,200,000円)
- 国際協力のための寄付金 (目標 2,800,000円)
- 障がい児支援のための寄付金 (目標 3,500,000円)
- 経済的困難家庭の子ども支援のための寄付金 (目標 1,500,000円)